

池田

道陸源重次（重次）和泉守重時（重時）子なり
先祖は公收美濃守持益の長男太郎持
兼といひたり重時といひて勝三郎と
いひ別髪して後松庵と號して依て本
家小属に近江國甲賀郡小住の永祿
十二年依て本家没落し時甲賀と通さ
つゝ曲直瀬道三の弟子とてなり

醫國以業とて其後池田三右衛門輝政に
仕て慶長十七年十月二日とて六十九
少して死ひ法名ふ雪とて子重次寛
永二年とてめと

台徳院殿小僧みえ奉つ上同十五年に
戸南北の地小清薬園と構てとて此石
まてと慶長二百俵と賜ひ麻布の清薬
園と預けたる重次女の地小薬師堂と建

之と崇尊寺と號して慶安元年四月
十六日とて六十四少して死ひ法名無
縁とて其子道陸重孝遺跡とつて
しめ岩松とて道軒とていひたり

の小普信池田内記
富郷と祖なり

家譜
の今